



「梅雨」も6月後半に明けそれから10日ほど「猛暑日」が続きましたが、それ以後は「夕立」が襲来する日が多くなって、梅雨に逆戻りしたかと思うほど天候が入替り、先月は割りと凌ぎ易かったような気がします…「お盆」まであと少しですが今月はまた「猛暑」がぶり返して、暑い日が続くような長期予報です。
電力不足が心配されていますが、「熱中症」にならないように適度にエアコンを使い、就寝前には必ず水分を補充するよう気をつけてください。

瓦版 8月号

発行 株式会社カネマタ工務店
TEL 025-792-2560
FAX 025-792-7102
http://kanematak.com



トマトとナスの重ねグラタン



- 【材 料】 トマト(中型) 3個 AGF 瀬戸のほんじお 小さじ1
ナス(丸ナス) 4個 コショウ 少々
牛ひき肉 300g バター 少々
玉ネギ 1個 ピザ用チーズ 100g
AGF コンソメ(顆粒) 小さじ1 AGF サラダ油 大さじ1



- 【作り方】 ※材料:4人分 エネルギー:374kcal 塩分:2.1g タンパク質:21.4g /1人
1. トマトは4~5mm幅の半月切りにする。ナスも同じ幅の斜め切りにし、水にさらして水気をきる。玉ネギはみじん切りにする。
2. グラタン皿にはバターを塗っておく。オーブンは200℃に予熱しておく。
3. フライパンに油を熱し、牛ひき肉・玉ネギを入れて炒め、コンソメ・塩・コショウで調味する。
4. グラタン皿に(3)の具材を敷き、(1)のトマト・ナスを交互に重ねて円形状に並べ入れ、ピザ用チーズを上からかけ、200℃のオーブンで15分ほど焼いて出来あがりです。



※スープものとして「夏野菜」の「トマトとオクラの塩味豚汁」もお勧めです…

もうすぐ「お盆」になりますね…

「暑さ寒さも彼岸まで」と申しますが、秋の彼岸は「秋分の日」で毎年09月23日ですよ…では何故08月13日を「お盆」と言うのか気になり調べてみました。お盆は日本古来の祖霊信仰と仏教が融合した、夏季に日本で行われる祖先の霊を祀る一連の行事と言えます…かつては太陰暦の07月15日でしたが、明治期の太陽暦(新暦)の採用により07月15日だと農繁期と重なり支障が出る地域が多かったため、新暦の08月15日をお盆(月遅れ盆)とする地域が多くなったようです。全国的な風習として13日の夕刻、玄関先で乾燥させたまこもなどを燃やす野火を「迎え火」と呼び、以後精霊棚の故人へ色々なお供え物をする風習がお墓参りとなり、ご先祖様の供養のためにお墓にお菓子を供えたりするようになったようです…
また、15日か16日に焚く野火を「送り火」と呼び、帰って来ている祖霊を送る風習もあります…地域によってはあの世とこの世を祖先が行き来する乗り物として、「精霊馬」と呼ばれるものをお供えするところもあります…キュウリやナスにマッチ棒や折った割り箸を足に見立てて4本差したもので、キュウリは足の速い馬に見立てられ、あの世から早く戻って来るように、ナスは足の遅い牛に見立てられ、帰るのが遅くなるようにとの願いからと言われます。



「リフォーム支援事業」予算枠後少し

このところ毎月記事を書いている「リフォーム支援事業」。先月の初めに実績報告書を提出した際に担当窓口の方から聞いた情報では、予算枠がまだ1,200万円分ほど残っているとのも事でした…確かに資機材の入手困難な現状も影響しているのか、市内を見渡しても昨年よりは軒数も少ないように思います。

弊社も受注件数は6軒で昨年度の実績の6割程度に留まっています…あくまで市内に営業拠点を置く業者さんを対象にしている事業なので、他所の業者さんは参入することが出来ない事と、市内で営業する業者さんの数も少なくなっている状況も考えると「止むを得ない事」なのではないでしょうか？

中には工事を始めたのに「資機材」の納期が予定と違ってしまい、工事途中で現場を進める事が出来なくなった案件も出ているとの話も聞きました…そうなるとうユーザー様には更にご不自由を掛ける事になるので、よく確認してから工事を始めるよう、より慎重な体制が必要になりますね…

ここで現状の物流状況を調べてみましたが洋式トイレの便座は発注から納品までの待時間はおよそ2箇月…ガス給湯器・エコキュートは約6箇月、他にもエアコン・照明器具・IHヒーター・ガスコンロ・etcに至るまで、生活に欠かせないあらゆる住設機器がそんな状況で事態の改善がみられません。便利な生活に慣れてきた現代では、こうした状況に対応するのは大変ですよ…



掲載画像 上:着手前 下:完成

魚沼の自然…「モウセンゴケ」

今回は尾瀬ヶ原や市内の特定の場所に生育する「モウセンゴケ」を調べてみました。日本各地の湿原に自生する「食虫植物」で、この名の由来は「お茶会」などで敷く敷物の「緋毛氈(ヒモウセン)」からきています…湿原で赤く色付き群生する姿はあたかもこの緋毛氈のように見える事からだと言われています。コケのように群生しますが、花も咲き結実もしますのでコケではありません…湿気が多く痩せた「酸性土壌」を好む「湿生植物」で、最大の特徴は「食虫植物」だと言えます。中央の画像のように葉の上には腺毛があり、ここから粘液を出し小さな虫がくっついて動けなくなると、消化酵素を出して分解し養分を吸収します…この粘液は水と多糖類で組成されていますので人体には「無害」です。

モウセンゴケは春に休眠から目覚めると、急速に生長して開花・受粉・結実をします…夏の暑さはやや苦手ですが枯れる事はありません。秋になると持ち直し、気温の低下と共に固い冬芽を形成し冬を凌ぎ春にまた成長します。

園芸分類では「多年性草花」に入り、6~8月に掛けて白色の花を咲かせます…種類によっては右画像のように薄桃色の花を咲かせるものも有ります…ホームセンターでも観賞用として販売されていますので愛好家も多いようです。



8月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
葉月	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
2022年	八朔	大安	赤口	先勝	友引	先負	仏滅	大安	赤口	先勝	友引	先負	仏滅	大安	赤口	先勝	友引	先負	仏滅	大安	赤口	先勝	友引	先負	仏滅	大安	一粒万倍日	先負	仏滅	大安	赤口
	仏滅	地鎮祭上棟吉日	赤口	地鎮祭上棟吉日	地鎮祭上棟吉日	地鎮祭吉日	地鎮祭上棟吉日	地鎮祭上棟吉日	赤口	地鎮祭吉日	地鎮祭上棟吉日	地鎮祭吉日	地鎮祭上棟吉日	地鎮祭上棟吉日	赤口	地鎮祭吉日	地鎮祭上棟吉日	地鎮祭上棟吉日	地鎮祭上棟吉日	地鎮祭上棟吉日	地鎮祭上棟吉日	地鎮祭吉日	地鎮祭上棟吉日	地鎮祭上棟吉日	地鎮祭上棟吉日	地鎮祭上棟吉日	三隣亡	地鎮祭上棟吉日	地鎮祭吉日	地鎮祭上棟吉日	赤口